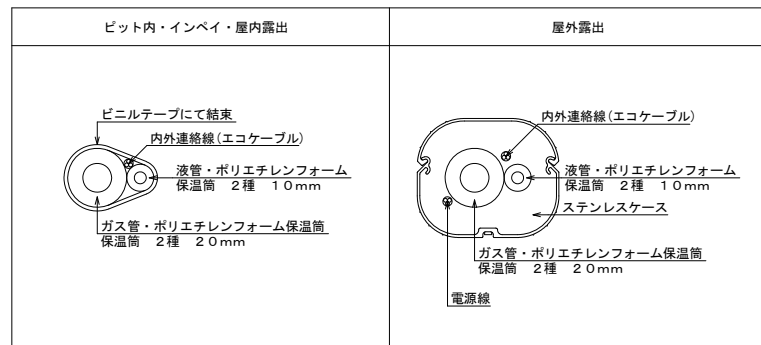


凡例

■衛生・空調配管凡例					
記号	名称	材質	規格	施工	備考
— — — — —	給水管	水道用ステンレス鋼管（拡管式）	(SUS) JIS G 3452 JWWA K 132	屋内一般	
		水道用ステンレス鋼管（拡管式）	(SUS) JIS G 3452 JWWA K 132	ビット内	
		水道用ステンレス鋼管（拡管式）	(SUS) JIS G 3452 JWWA K 132	地中配管	
— — — — —	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) 耐火二層管 JIS K 6741	屋内一般	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	ビット内	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	地中埋設	
— — — — —	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) 耐火二層管 JIS K 6741	屋内一般	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	ビット内	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	地中埋設	
— — — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	屋内一般	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	ビット内	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	地中埋設	
— R — — — — —	冷媒管	冷媒用被覆銅管 (M)	JISH3300	屋内一般・屋外ラック内部分	
— — — — —	冷媒分岐管	冷媒用被覆銅管 (M)	JISH3401	屋内一般・屋外ラック内部分	
— — — — —	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	屋内一般	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	ビット内	
		硬質ポリ塩化ビニル管	(VP) JIS K 6741	地中埋設	
— — — — —	換気ダクト	スパイラルダクト		屋内一般	
— — — — —		EA	実験排気ダクト	SUSダクト (SUS)	屋内一般・屋外露出
— — — — —	EA	実験排気ダクト	硬質ポリ塩化ビニル管 (PVC)	屋内一般・屋外露出	酸系スクラバー排気ダクト
— — — — —	EA	実験排気ダクト	塩ビ鋼板製ダクト	屋内一般・屋外露出	弱酸系大気開放排気ダクト

冷媒管施工



[注記]・外部及び屋上の空調屋外機への主管は歩路用配管化粧カバー（高耐食性熔融亜鉛メッキ鋼板）とした。

区画貫通処理

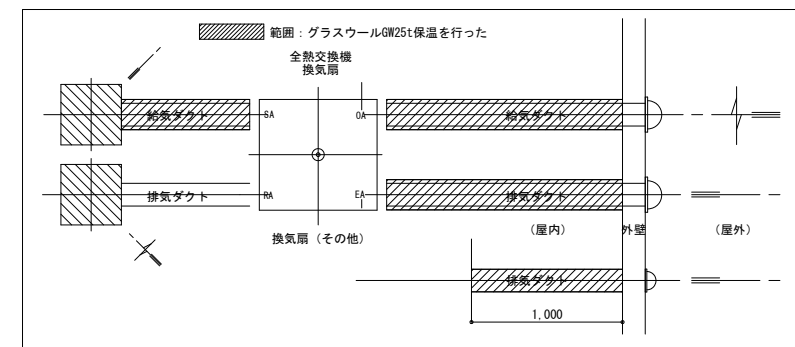
防火区画の貫通に使用できる配管	汚水管・雑排水管・通気管 → 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	冷媒管・制御配線 → 断熱材被覆銅管・ケーブル	制御配線 → ケーブル
※配管貫通部の隙間はモルタル埋め又はロックウール充填を施した。	※配管貫通部の詳細な仕様は認定条件に従った。	※配管貫通部の詳細な仕様は認定条件に従った。	※鋼製電線管にて保護し、配管及び貫通部の開口はモルタル埋め又は耐熱シール材にて塞いだ。
<p>モルタル埋め ロックウール充填</p> <p>配管</p> <p>ロックウール充填 (厚25mm以上)</p> <p>配管</p> <p>中空壁</p> <p>コンクリート壁及び床</p> <p>中空壁</p>	<p>隙間処理 モルタル埋め</p> <p>熱膨張耐火材 巻き付け</p> <p>配管</p> <p>熱膨張耐火材 巻き付け</p> <p>配管</p> <p>ロックウール シーリング材等</p> <p>コンクリート床及び壁</p> <p>中空壁</p> <p>[参考] 国土交通大臣認定品 PS060FL-0070 国土交通大臣認定品 PS060WL-0063</p> <p>[参考] 国土交通大臣認定品 PS060WL-0103</p>	<p>蓋金具</p> <p>耐熱シール材</p> <p>熱膨張性耐熱 シール材</p> <p>配管</p> <p>蓋金具</p> <p>耐熱シール材</p> <p>熱膨張性耐熱 シール材</p> <p>鋼製貫通スリーブ</p> <p>熱膨張性耐熱 シール材</p> <p>配管</p> <p>蓋金具</p> <p>耐熱シール材</p> <p>熱膨張性耐熱 シール材</p> <p>コンクリート床及び壁</p> <p>中空壁</p> <p>[参考] 国土交通大臣認定品 PS060FL-0776</p> <p>[参考] 国土交通大臣認定品 PS060WL-9370</p>	<p>ケーブル</p> <p>鋼製電線管</p> <p>モルタル埋め</p> <p>耐熱シール材</p> <p>ケーブル</p> <p>鋼製電線管</p> <p>耐熱シール材</p> <p>ケーブル</p> <p>鋼製電線管</p> <p>モルタル埋め</p> <p>耐熱シール材</p> <p>ケーブル</p> <p>鋼製電線管</p> <p>耐熱シール材</p> <p>1m以上</p> <p>1m以上</p> <p>1m以上</p> <p>1m以上</p> <p>コンクリート壁及び床</p> <p>中空壁</p>

[注記]・配管は、貫通部及び貫通部から両側に1m以内の距離にある部分を不燃材料で造るか配管の外径を国土交通大臣が定める数値未満とし、貫通部のすき間を不燃材料で埋め戻した。

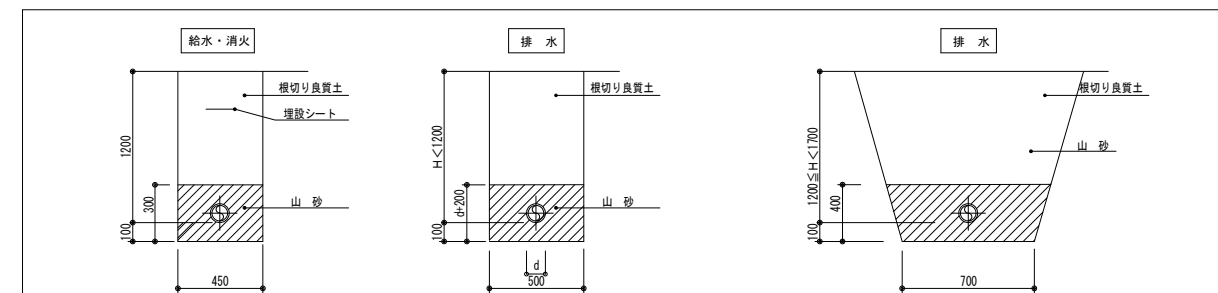
保温仕様

配管種類	保温材料	施工箇所	最終仕上材
給水管	グラスウール保温材	屋内露出（一般居室、廊下）	アルミガラスクロス 合成樹脂製カバー（量水器周り）
	グラスウール保温材	屋内露出（機械室、倉庫等）	アルミガラスクロス
給水管	ポリスチレンフォーム	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	アルミガラスクロス
	ポリスチレンフォーム	床下、暗渠内（ビット内を含む）	着色アルミガラスクロス
給水管	ポリスチレンフォーム	屋外露出	ステンレス鋼板
	グラスウール保温材	屋内露出（一般居室、廊下）	アルミガラスクロス
給水管	グラスウール保温材	屋内露出（機械室、倉庫等）	アルミガラスクロス
	グラスウール保温材	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	アルミガラスクロス
給水管	グラスウール保温材	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー
	グラスウール保温材	屋内露出（機械室、倉庫等）	アルミガラスクロス
給水管	グラスウール保温材	天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	アルミガラスクロス
	冷媒管	冷媒管施工参照	
ドレン管	グラスウール保温材	屋内露出（一般居室、廊下）	アルミガラスクロス
		屋内露出（機械室、倉庫等）	アルミガラスクロス
		天井内、パイプシャフト内、空隙壁中	アルミガラスクロス
換気ダクト	グラスウール保温材	換気ダクト保温施工概要 参照	アルミガラスクロス

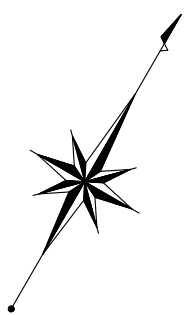
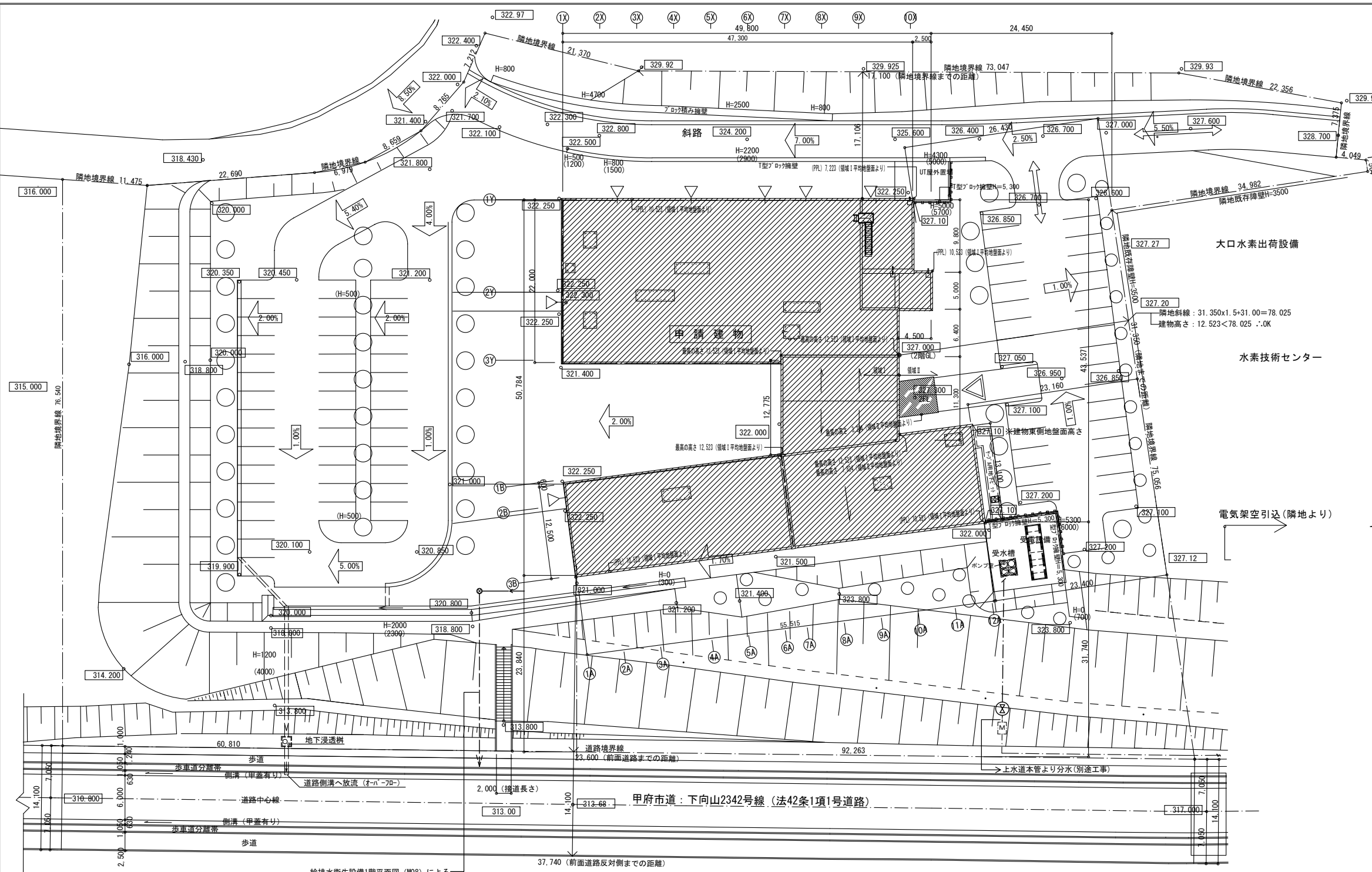
換気ダクト保温施工概要



根切り断面図



施工者	山梨県企業局	設計者資格	縮尺	工事名称	竣工図
設計者		設計者氏名	A1版: NO SCALE A3版: NO SCALE		
	米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ（Nesrad）法定点検等業務委託	担当者	竣工年月日	図面名称	M003
			2023/02/28	凡例・区画貫通	



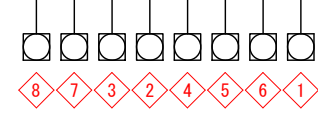
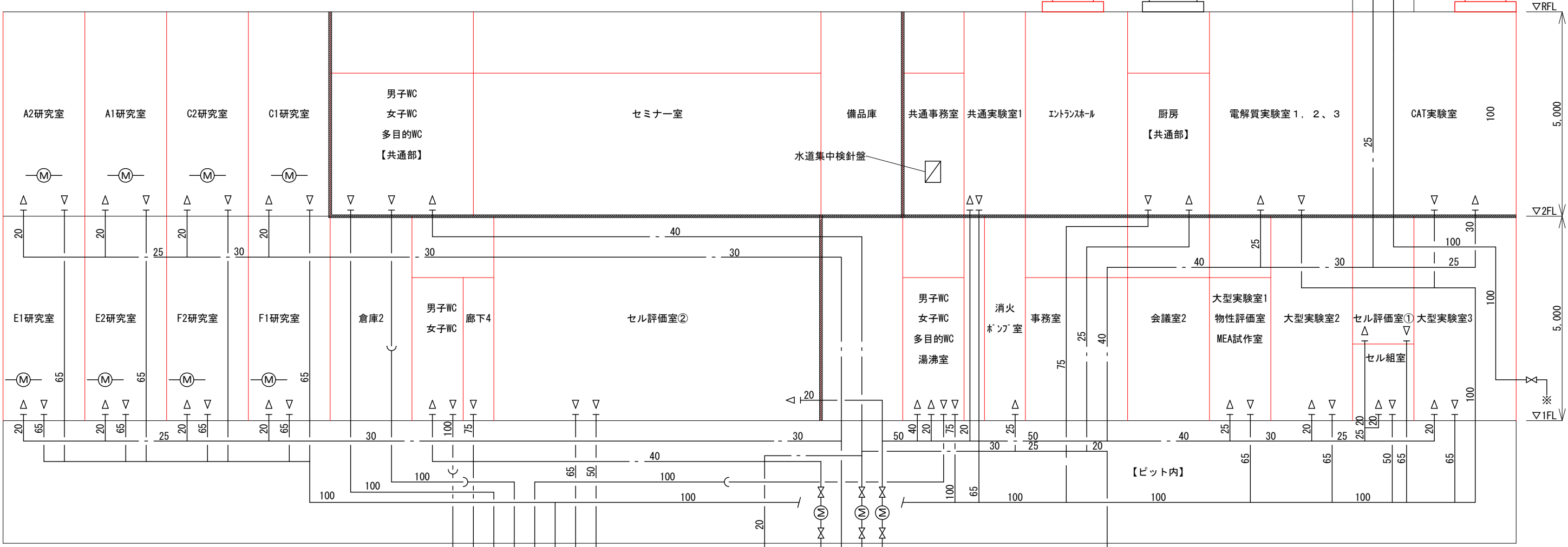
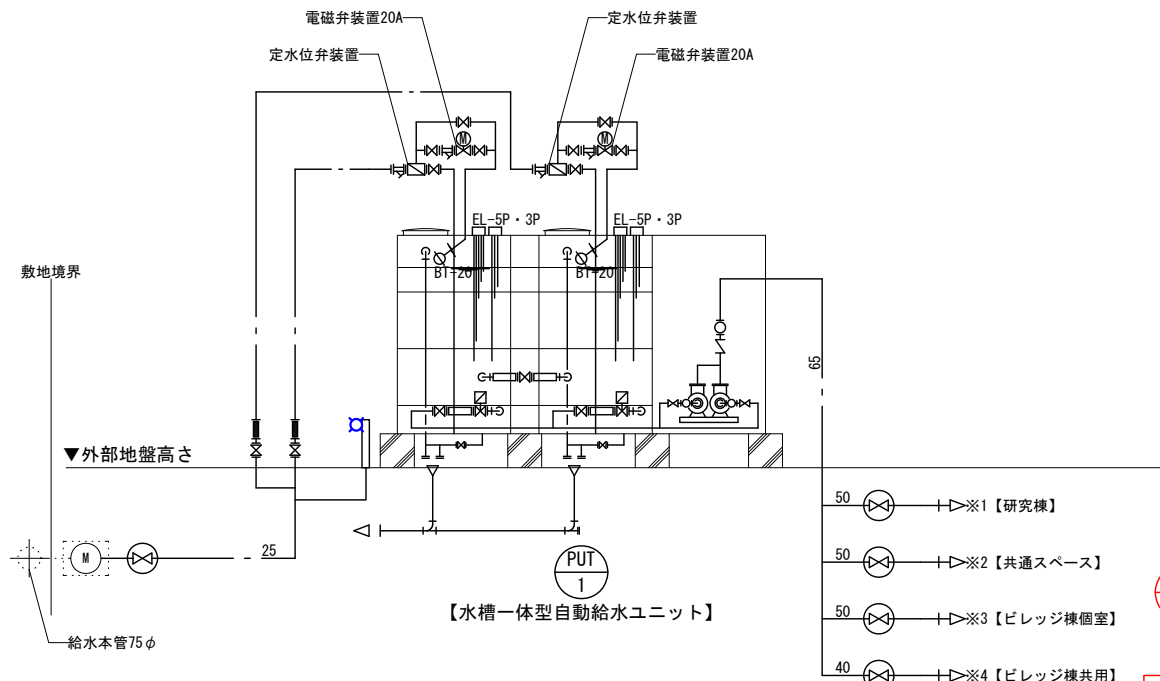
配置図

1) 計画概要	
施設名称	米倉山エネルギーシステム研究開発ビレッジ (仮称)
建設場所	甲府市下向山町字清水3147番地 外42筆
施設用途	米倉山エネルギーシステム研究開発研究所
敷地面積	13,290.02㎡
地域指定	用途地域 指定なし (都市計画区域内) 防火指定 指定無し その他地区等 甲府市景観計画区域 下水道事業計画区域
延床面積	延べ床面積 3,774.92㎡ 1階床面積 1,915.67㎡ 2階床面積 1,859.25㎡ 建築面積 1,939.23㎡
主構造	鉄筋コンクリート造地上2階
基礎	地盤改良直接基礎
耐震基準	構造体 (II)類 重要度係数 1.25 建築非構造部材 (A)類 建築設備 (甲)
地盤状況	液化化危険度 液化化対象層なし 地盤卓越周期ランク 適用外 東海地震対策・予想震度 震度6弱 地表最大加速度 800 ~ 1000 Gal
その他基準省	エネルギー地域区分 5地域 積雪深度 55cm 前面道路の幅員等 甲府市道下向山2342号線 (1項1号道路) 道路幅員 14,100 都市計画道路の有無 等 無
ビル管理法	研究所のため適用外

施工者	山梨県企業局	設計者資格	縮尺	工事名称	次世代エネルギーシステム研究開発拠点整備事業 (機械設備工事) (継続費)	竣工図
設計者		設計者氏名	A1版: 1/300 A3版: 1/600			
	米倉山次世代エネルギーシステム研究開発ビレッジ (Nesrad) 法定点検等業務委託	担当者	竣工年月日			M004
			2023/02/28			

凡例

記号	名称	備考
—X—	仕切弁	20A~50A
—N—	逆止弁	
—X—	パナライ弁	65A~
—R—	減圧弁	20A ストレーナー付
—M—	リモート式水道メーター	20A×8 40A×1 50A×2
—A—	自動エア抜弁装置	20A
—T—	フルキップ継手	合成ゴム製 (株) TOZEN社 ユアジポイント同等品 (横使い) 又はSUS製 (縦使い)
—O—	防振継手	合成ゴム製
—□—	小口径柵	塩ビ製 樹脂蓋 200φ



給排水衛生設備 系統図

※特記事項
 ・※箇所は屋上スクラパー系統の排水を単独とし、1階外部にて露出配管の上バルブ止めとした。
 以降、専門業者にてバキュームタンクにて適時処理を行う。
 — 防火区画を示す